

6. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

【活動方針】 教職課程においては、教育学分野 5 研究室(教育学研究室、教育心理学研究室、理科教育研究室、農業科教育研究室、技術科教育研究室)を中心に、幅広い知識と実践的指導力を持つ各教科教員養成を目指す。

中学校・高等学校の教員を養成する中で、「学生に愛される農大」「教育で評価される農大」「地域に貢献する農大」「社会・産業に貢献する農大」「卒業生に愛される農大」を実現する。

テーマ 1 高度な専門性と実践的指導力を育む教員養成

【背景・目標】

高度な専門性を有し、実践的指導力を育む教員養成を行う。学校ボランティア活動や教職実践演習による「学びの集大成」を通じて、教員としての資質・能力を十分に兼ね備えた学生の支援体制を促進する。

【実施計画】

- 1) 一種教員免許状取得のための教職及び教科に関する授業を 3 年次までに履修すると共に、教育実習指導における模擬授業の実施により、4 年次の教育実習に向けた十分な準備を行う。また、教育実習後は、「学びの集大成」としての教職実践演習を行う。教職実践演習では、学生が学校現場における実践的な演習を通じて教職の課題を明確化し、自己の資質・能力の向上に生かすことを目的としている。
- 2) 教育現場での学びを目的とし、各教育委員会等と連携して公立小・中学校での学校ボランティア活動を推進する。また、都立農業高校との高大連携により、農業科教育法に関わる実習授業を行う。

【達成度を判断するための指標】

- ・教職課程就職状況
- ・教職に関するアンケート

テーマ 2 教員採用試験対策講座の充実

【背景・目標】

教職課程開講科目以外に、学生が学びを深めたい専門教科、教職教養に関し、教員採用試験対策講座として、外部講師(教育委員会採用担当経験者等)、委託業者講師及び教職課程教員が講義や面接指導を行い、より多くの教員採用試験正規合格者が出るよう、学生への支援を行う。

【実施計画】

教職課程履修 3 年生(希望者は 2 年生も受入)を対象とし、9 月から約 1 年間対策講座(年 38

回、模擬試験 3 回)を毎週土曜日に実施する。外部講師(教育委員会採用担当経験者)、教職課程教員及び委託業者講師による授業や面接指導により、現役合格者の増加を目指し、学生への支援を行う。

【達成度を判断するための指標】

- ・教職課程就職状況
- ・教員採用試験対策講座受講者数及び開催後実施する受講生アンケート
(開催内容、回数等、要望)